

9640

第四六號

教庶第七三號

空地連絡法送付、件通牒

昭和六年一月十九日教育總監部庶務課長矢野

陸軍省副官 原 常 成 殿

首題、件別冊為參考左記、通送付ス

記

空地連絡法 一〇 部

九部庶務課長

一月十九日

原常成



陸軍

9640

空地連絡法

昭和五年十二月
教育總監部

本書ハ當部及所管學校、陸軍航空本部並
 下志津陸軍飛行學校ノ職員ヲ委員トシ
 テ研究審議セシメタルモノナリ
 空地ノ密接ナル連絡ヲ緊要トスル現代
 戰ノ爲空地連絡法ノ研究ハ國軍ノ一日
 モ曠シクシ得サルトコロナルヲ以テ空
 地連絡法中主トシテ飛行機ト地上部隊
 トノ通信ニ關シ軍隊教育ノ參考ニ資セ
 ンカ爲急キ之ヲ剗削ニ附シテ各部隊ニ
 配賦スルコトトセリ

8620

昭和五年十二月

教育總監部本部長

林

仙之

空地連絡法目次

總則	一頁
第一章 飛行機ト對空無線電信所トノ通信	二
通則	二
第一節 調整ノ爲ノ通信	四
第二節 電報ノ送受法	七
第二章 飛行機ト布板信號所トノ通信	二五
第三章 飛行機ト對空連絡機關以外ノ地上部隊トノ通信	三三
附表	
第一 和文字號表	
第二 空地無線電信勤務用略號表	
第三 空地連絡用無線電信略號表ノ一例	

目次

0080

空地連絡法目次終

目次

第四其一 數字布板ノ型式ノ一例

其二 隊號布板ノ配當及標示法ノ一例

第五 數字布板ノ標示法ノ一例

第六 標示布板ノ標示法ノ一例

第七 空地連絡用數字布板信號表ノ一例

第八 煙火信號表ノ一例

二

空地連絡法

總則

第一 本書ハ飛行機ト地上部隊トノ連絡ニ關シ準據スヘキ事項ニ就キ記述ス
 氣球ト地上部隊トノ連絡ニ關シテハ別ニ記述スルトコロニ據ル

第二 空地連絡ノ方法ニハ狀況ニ應シ左ノ各種方法中其一ヲ用ヒ若ハ彼此併用ス

- 一 飛行機ヨリ地上ニ對シ
 無線電信、通信筒、煙火信號、鳩
- 二 地上ヨリ飛行機ニ對シ
 無線電信、看板信號(標示幕ヲ含ム)、通信筒(釣取ニ依ル)、煙火信號

總則

飛行機ト對空無線電信所トノ通信

右ノ外無線電話、飛行機ノ行動、姿勢又ハ旗、散紙等臨時ニ應用ノモノヲ以テ簡單ナル通信ヲ行フコトアリ

第一章 飛行機ト對空無線電信所トノ通信

通則

第三 飛行機ト對空無線電信所（以下對空電信所ト稱ス）トノ通信ニハ飛行機ハ無線電信ヲ用ヒ對空電信所ハ無線電信及布板信號ヲ併用スルモノトス
無線電信ニ依ル通信ハ之ヲ片通信（飛行機ハ送信ヲ、對空電信所ハ受信ヲ行フモノ）ト相互通信（飛行機及對空電信所共送受信ヲ行フモノ）トニ分ツ

第四 無線電信ニ依ル通信ハ一飛行機ト一對空電信所トヲ對向シテ實施セシムルヲ本則トス時トシテ一對空電信所ニ對シ二機以上ノ飛行機ヲ對向セシムルコトアリ
第五 對空電信所相互間ノ通信ハ特ニ規定スル場合ノ外之ヲ行ハサルモノトス
第六 電報ノ送受ハ電信機調整ノ爲必要ナル通信ヲ行ヒタル後實施スルヲ本則トス
第七 通信法ハ自由通信ニ依ルヲ本則トスルモ一對空電信所ニ對シ二機以上ノ飛行機ヲ對向セシムル場合ニ於テハ通常時間通信ヲ行フモノトス
第八 一對空電信所ニ對シ在空中セル二機以上ノ飛行機同時ニ通信ヲ要求スル場合ニ於テハ對空電信所ハ通信スヘキ飛行機ヲ指示シタル後通信ヲ開始スルモノトス
第九 通信速度ハ通信手(偵察者)ノ伎倆、空界ノ狀況、感度等ニ依リ差異

飛行機ト對空無線電信所トノ通信

三

飛行機ト對空無線電信所トノ通信

四

アリト雖通常一分時間五十字ヲ標準トス

第十 飛行機任務ヲ終了シ著陸セントスルカ若ハ通信ヲ中止セントスル場合ニ於テハ其旨ヲ對空電信所ニ通報スルモノトス

第十一 空地ノ無線電信ニ使用スル和文字號並空地無線電信勤務用略號ハ附表第一、第二ノ如シ

空地連絡用無線電信略號表ノ一例附表第三ノ如シ

第一節 調整ノ爲ノ通信

第十二 飛行機ハ離陸後飛行場ノ對空電信所ニ對シ調整ノ爲ノ通信ヲ行ヒタル後更ニ對向スヘキ對空電信所ニ對シ之ヲ實施スルモノトス

調整ノ爲ノ通信ハ常ニ飛行機ヨリ開始スルモノトス

第十三 片通信ニ於ケル調整ノ爲ノ通信ハ左ノ方法ニ依リ行フモノトス

一 飛行機ハ對空電信所ノ布板ニ依ル應答アルマテ呼出ヲ反復ス

5080

- 二 呼出ヲ受ケタル對空電信所ハ感度良好ナルトキハ「承知」ノ布板信號ヲ以テ應答ス
 - 三 對空電信所飛行機ヨリノ送信感度不良ニシテ實用ニ適セスト認ムルトキハ「調整ヲ復行セヨ」又飛行機ノ送信中ナルヲ推知シ得ルモ感度ナキトキハ「聞エス」ノ布板信號ヲ爲ス
 - 四 前號ノ場合ニハ飛行機ハ器材ヲ點檢シテ通信ヲ復行ス
- 第十四** 相互通信ニ於ケル調整ノ爲メノ通信ハ左ノ方法ニ依リ行フモノトス
- 一 飛行機ハ第十三ノ第一號ニ據リ送信ス
 - 二 對空電信所ハ第十三ノ第二號ニ據リ「承知」ノ布板信號ヲ爲シ飛行機ノ送信終ラハ直ニ「送信中」ノ布板信號ヲ爲スト共ニ無線電信ニ依リ應答ヲ爲ス
 - 三 飛行機前號ノ應答ヲ受ケタルトキハ應答受諾ヲ爲ス
- 第十五** 調整ノ爲メ呼出ヲ爲スニハ左ノ如ク送信ス

飛行機ト對空無線電信所トノ通信

五

9080

飛行機下對空無線電信所ノ通信

六

- 一 對手符號 三回
 - 二 前置符號 一回 (以下呼名ト稱ス)
 - 三 自己符號 三回
 - 四 空中線電流 一回
 - 五 終信符號 一回
 - 六 可送符號(リ) 一回
- 適宜反復ス
布板ヲ見ル能ハサルトキ
ハ三回ヲ標準トス
- 第十六 調整ノ爲無線電信ニ依リ應答ヲ爲スニハ左ノ如ク送信ス
- 一 呼名 一回
 - 二 空中線電流 一回
 - 三 感度 一回
 - 四 終信符號 一回
- 三回以上
- 對空電信所ニ於テ飛行機ノ送信波長(周波數)ノ誤差ヲ指示セントスルトキ
ハ空中線電流ノ次ニ左ノ事項ヲ加フ

波長(周波數)長シ(少シ) 波長誤差米數(周波數誤差數) 二回
第十七 應答受諾ノ方法ハ第十六ニ同シ

第二節 電報ノ送受法

- 第十八 片通信ニ於ケル電報ノ送受ハ通常左ノ順序ニ依ルモノトス
 - 一 飛行機ハ呼出ニ引續キ本文ヲ送信ス
 - 二 對空電信所ハ電報ヲ確實ニ受信セルトキハ「承知」ノ布板信號ヲ爲シ不明ノ箇所アルトキハ更送ヲ要求ス
 - 三 更送ヲ要求セラレタル飛行機ハ第一號ニ準シ速ニ更送ス
 - 四 對空電信所ノ布板信號ヲ見ル能ハサルトキハ飛行機ハ呼出ニ引續キ本文ヲ數回反復送信ス
- 對空電信所ヨリ要求(命令以下同シ)ヲ送信スルニハ布板信號ニ依ルモノトス

飛行機ト對空無線電信所トノ通信

布板信號ノ操作ハ第二章ニ據ル

第十九 相互通信ニ於ケル電報ノ送受ハ特ニ規定スルモノノ外電報ヲ送信シ對所ヨリ其受信證ヲ得テ完了スルモノトス

電報ヲ送受スルニハ左ノ順序ニ依ルヲ本則トス但對空電信所ニ在リテハ送信中通常送信中ノ布板信號ヲ爲シアルモノトス

一 飛行機(對空電信所)電報ヲ送信セントスルトキハ先ツ對所ヲ呼出ス

二 對空電信所(飛行機)ハ之ニ對シ應答ス

三 飛行機(對空電信所)對所ノ應答ヲ得ハ電報ヲ傳送ス

四 傳送ヲ受ケタル對空電信所(飛行機)ハ受信確實ト認ムル場合ニ於テハ直ニ受信證ヲ送り若不明ノ箇所アルトキハ更送ヲ要求ス

五 更送ヲ要求セラレタル飛行機(對空電信所)ハ速ニ更送ス

狀況ニ依リ呼出ニ引續キ電報ヲ傳送スルコトアリ

第二十 電報ヲ傳送スル爲對所ヲ呼出スニハ呼名ヲ用ヒ數回之ヲ反復ス而

6080

シテ呼出ノ末尾ニ可送符號一回ヲ附スルモノトス	
呼出ニ引續キ電報ヲ傳送スルニハ呼名ノ次ニ「可受符號」(ウケ)一回ヲ送り	
第二十二「ホネ」以下ヲ送信スルモノトス	
第二十一 電報ヲ送受スル爲應答ヲ爲スニハ左ノ如ク送信ス	
一 呼名	數回
二 可送符號	一回
第二十二 電報ヲ傳送スルニハ左ノ如ク送信ス	
一 呼名	一回
二 ホネ	一回
三 本文	一回
四 終信符號	一回
五 自己符號	十回
六 可送符號	一回

二回反復ス之カ爲第二回目ノ始メニ反復符號(ナツム)二回ヲ冠スルモノトス

飛行機ト對空無線電信所トノ通信

字數、電報番號、宛名等ヲ要スル場合ニ於テハ上記ノ順序ニ區切點ヲ間シテ呼名ノ次ニ傳送スルモノトス

同ニ對所ニ對シテ通以上ノ電報ヲ連送スルニハ第一電報ノ終信符號ノ次ニ送信繼續符號(イヌナ)ニ回ヲ送り直ニ第二電報ノ「ホネ」ヨリ終信符號マテヲ傳送シ以下之ニ準シ最後ノ電報ニ「ミ」自己符號及可送符號ヲ送ルモノトス

第二十三 砲兵ノ射彈觀測ニ於ケル電報ノ傳送ハ通常左ノ如ク送信ス

- 一 呼名 一回 (通常對手符號ノミヲ用フ)
- 二 分離符號 一回 (通信事項ニ簡以上ナルトキハ各事項毎ニ分離)
- 三 略號 一回 (符號ヲ挿入ス)
- 四 終信符號 一回

對空電信所ハ著信セル通信事項ヲ直ニ發唱シ迅速ナル方法ニ依リ指揮官ニ傳達ス

第二十四 受信證ハ左ノ如ク送信ス

- 一 呼名 一回
- 二 解信符號(ナ) 二回

第二十五 受信證ニ引續キ電報ヲ傳送スル場合ニ於テハ受信證ノ送信ニ次テ可受符號二回ヲ送り之ニ引續キ第二十二ノ「ホネ」以下ヲ送信スルモノトス

第二十六 送信中誤謬ヲ訂正スルニハ左ノ方法ニ依ルモノトス

- 一 直ニ誤謬訂正符號ヲ送り誤脱セル字ノ數字前ヨリ送り直ス
- 二 本文ヲ送り直スニハ誤謬訂正符號ニ次テ「ホネ」ヲ送り送信ス

第二十七 更送ヲ要求スルニハ左ノ如ク送信ス此際要スレハ反復符號ノ次ニ電報番號ヲ加フルモノトス

- 一 呼名 一回
- 二 反復符號 二回

飛行機ト對空無線電信所トノ通信

0812

飛行機ト對空無線電信所トノ通信

一二

- 三 終信符號 一回
- 四 自己符號 一回
- 五 可送符號 一回
- 第二十八 電報ノ更送ハ第二十二ニ準ス
- 第二十九 敵情、天候及氣象ノ急變並僚機ノ危急及其不時著陸等ニ關シ緊急通信ヲ爲ス場合ニ於テハ通常左ノ如ク放送ス
 - 一 緊急符號(マママ) 數回
 - 二 簡單ニセル通信事項 一回 第二回以後ハ反復符號ヲ冠シテ數回反復ス
 - 三 終信符號 一回
 - 四 自己符號 一回
- 第三十 飛行機不時著陸ニ際シテハ左ノ如ク危急電報ヲ放送ス
 - 一 危急符號(ツイタ) 數回
 - 二 自己符號 一回

三 地點

四 狀況

一回 數回反復ス

即時救助ヲ要スル場合ニ於テハ危急符號ニ代ヘ避難符號(ラレラ)ヲ用フ
第三十一 緊急符號、危急符號又ハ避難符號ヲ聽取セル對空電信所ハ一時
他ノ通信ヲ中止シテ之カ受信ニ勉メ速ニ關係部隊ニ通報スルモノトス

第二章 飛行機ト布板信號所トノ通信

第三十二 飛行機ト布板信號所トノ通信ノ爲ニハ通常飛行機ハ通信筒及煙
火信號ヲ、布板信號所ハ主トシテ布板信號(煙火ヲ併用スルコトアリ)ヲ用
フルモノトス地形特ニ有利ナル場合ニ於テハ通信筒鈞取ノ方法ニ依ルコト
アリ

第三十三 數字布板ノ型式、隊號布板ノ配當及標示法並數字布板及標示布
板ノ標示法ノ一例附表第四乃至第六ノ如シ

飛行機ト布板信號所トノ通信

空地連絡用數字布板信號表ノ一例附表第七ノ如シ

第三十四 布板信號ハ偵察者ノ觀察容易ナル時期ニ於テ最大ノ通信能力ヲ發揮シ得ル如ク布板ヲ操作スルコト特ニ肝要ナリ之カ爲注意スヘキ事項概ネ左ノ如シ

一 飛行機カ如何ナル姿勢ニ在ルトキ偵察者ノ觀察最モ容易ナルヤヲ理解シアルコト

二 風速、風向ニ依リ航路ノ何レノ部分ニ於テ飛行機カ最モ長時間視界ヲ有スルヤヲ判定スルコト

三 布板ノ觀察不可能ナル時期ニ於テ爲セル信號ハ偵察者カ再ヒ觀察シ得ル時期マテ之ヲ存置スルコト

第三十五 布板信號ノ操作ハ偵察者ノ誤解ヲ誤ラシメサル如ク正確ナルヲ必要トス之カ爲注意スヘキ事項概ネ左ノ如シ

一 布板ヲ布置ハ其位置、方向、相互ノ關係位置等ヲ正シクシ又大ナル

敵ヲ生セシムサルコト

二 布板ヲ布置スルニ方リ身體ヲ以テ布板ヲ蔽ヒ或ハ其影ヲ布板上ニ投セサルコト

煙火ヲ以テ飛行機ノ注意ヲ喚起スル場合ニ於テハ之ヲ以テ布板ヲ蔽ハサル爲其位置及風向ヲ顧慮スルコト

三 使用セサル布板ハ偵察者ヲシテ誤認セシメサル如ク之ヲ處置スルコト

四 指數布板ハ上位ノ數ヨリ逐次布置シ其他ノ信號ノ布置及撤收ハ勉メテ同時ニ行フコト

第三十六 布板信號所ノ選定ニ方リテハ特ニ地積及附近ノ地形ヲ顧慮スルコト肝要ナリ

通信筒受領ノ爲必要ナル地積ハ附近ノ地形、地物、投下ノ爲ノ飛行方向、風向、風速等ニ依リ差異アルモ高度三百米附近ヨリ投下スルニハ通常布板

飛行機ト布板信號所トノ通信

ヲ中心トシ半径約百米ヲ必要トシ投下セル通信筒ノ發見ヲ容易ナラシムル
爲勉メテ村落、森林、樹叢、水流、池沼等ノ附近ヲ避クルヲ可トス
通信筒釣取ノ爲ニハ地形平坦開豁ニシテ風向ニ對シ少クモ幅百米、長さ五
百米ノ地積ヲ必要トシ且其周圍ニ飛行機ノ進入ヲ妨害スヘキ地物ナキヲ要
ス

第三十七 投下セル通信筒ノ發見ヲ容易ナラシムルニハ二名以上ノ人員ヲ
以テ目視ニ依ル交會法ヲ實施セシムルヲ可トス此場合ニ於テハ拾得者ヲ約
百米ノ間隔ニ配置シ落下地點ヲ通視セシメ次テ各々之ニ向ヒ行進セシムル
トキハ其交會點附近ニ於テ容易ニ發見シ得ルモノトス

第三十八 通信筒ノ投下ニ依ル連絡ハ左ノ要領ニ依リ實施スルモノトス
飛行機

一 豫想スル布板信號所ノ上空ニ到リ「呼出」ノ煙火信號ヲ爲シテ投下
位置ノ標示ヲ要求ス

4180

0070

二 布板信號所ノ位置ヲ發見セハ飛行經路ヲ決定シ高度ヲ低下シ其直上ニ到リ通信筒ヲ投下ス

三 布板信號所ノ「受領」ノ信號ヲ見タルトキハ爾後ノ行動ニ移リ「受領セス」ノ信號ヲ見タルトキハ投下ヲ復行ス

布板信號所

一 飛行機ノ「呼出」ノ信號ヲ見ルカ若ハ友軍機タルヲ確認セハ速ニ隊號布板ヲ布置シ通信筒受領ノ準備ヲ爲ス

二 通信筒ヲ受領スルカ又ハ落下地點ヲ確認セハ直ニ「受領」ノ信號ヲ受領シ得サルトキハ「受領セス」ノ信號ヲ爲ス

第三十九 布板信號ニ依リ飛行機ニ要求スルニハ左ノ要領ニ依ルモノトス

布板信號所

一 「要求アリ」ノ布板信號ヲ爲ス
二 飛行機ノ「承知」ノ煙火信號ヲ認ムルカ若ハ其行動ニ依リ承知セル

飛行機ト布板信號所トノ通信

8180

飛行機ト布板信號所トノ通信

二八

ヲ確認セハ直ニ布板信號ヲ開始シ通信終ラハ「通信終了」ノ信號ヲ爲ス

三 飛行機ヨリ「承知」ノ信號アラハ布板ヲ撤シ「信號繰返セ」ノ信號アラハ更ニ信號ヲ繰返スモノトス

飛行機

一 布板信號所ヨリ「要求アリ」ノ信號アラハ「承知」ノ信號ヲ爲シタル後上空ニ於テ布板信號ノ開始ヲ待ツ

煙火信號ノ缺乏等ノ爲信號ヲ爲シ得サルトキハ旋回シツツ「承知」ノ意圖ヲ示スモノトス

二 布板信號ヲ讀解セハ「承知」ノ信號ヲ爲シタル後行動ニ移リ讀解シ得サルトキハ「信號繰返セ」ノ信號ヲ爲ス

第四十 飛行機地上部隊ノ要求ノ有無ヲ知ルニハ左ノ要領ニ依ルモノトス
飛行機

6180

一 「要求アリヤ」ノ信號ヲ爲シ布板信號所ノ信號ヲ待ツ
二 布板信號所ヨリ「要求アリ」ノ信號アラハ第三十九ニ據リ行動シ「要求ナシ」ノ信號アラハ直ニ爾後ノ行動ニ移ルヲ若ハ歸還ス
布板信號所
要求ノ有無ニ從ヒ「要求アリ」若ハ「要求ナシ」ノ信號ヲ爲シ前者ノ場合ニ於テハ爾後第三十九ニ據リ行動ス
第四十一 布板信號所通信筒ヲ披讀セル後ニアラサレハ要求ノ有無ヲ決定スル能ハサル場合ニ於テハ「暫ク待テ」ノ信號ヲ爲シタル後速ニ要求ノ有無ヲ決定シ第四十二ニ據リ信號ヲ爲スモノトス
飛行機「暫ク待テ」ノ信號ヲ認ムレハ上空ニ於テ次ノ信號ヲ待テ第四十ノ「飛行機」第二號ニ據リ行動ス
第四十二 飛行機煙火信號ニ依リ通信シタル場合ニハ布板信號所ハ「承知」ノ信號ヲ爲スモノトス

飛行機下布板信號所トノ通信

一九

0280

飛行機ト無線電信所トノ通信

煙火信號ノ一例附表第八ノ如シ

第四十三 通信筒釣取ノ爲ニハ左ノ如ク設備スルモノトス

二〇

0821

0820

飛行機下布板信機所ノ通信

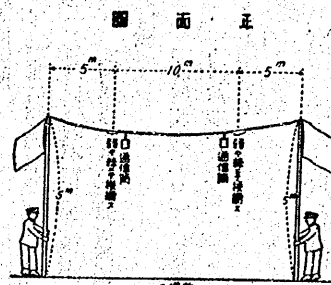
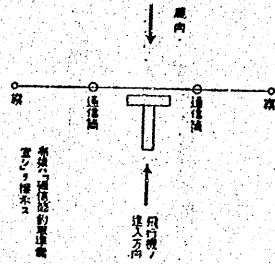


図 2



二

8280

飛行機ト對空連絡機關以外ノ地上部隊トノ通信

二二

第四十四 通信筒ノ釣取ニ依リ連絡スルニハ左ノ要領ニ依ルモノトス
布板信號所

- 一 「通信筒釣取レ」ノ信號ヲ爲ス
- 二 通信筒釣取位置ヲ標示ス
- 三 準備完了セハ「通信筒釣取準備宜シ」ノ標示ヲ爲ス

飛行機

- 一 「通信筒釣取レ」ノ信號ヲ認ムルヤ「承知」ノ信號ヲ爲ス
- 二 釣取位置ヲ承知シ次テ地上ノ準備完了ヲ待チテ高度ヲ低下シ通信筒ヲ釣取ル

第二章 飛行機ト對空連絡機關以外ノ

地上部隊トノ通信

第四十五 對空連絡機關ヲ有セサル地上部隊飛行機ヨリノ「呼出」ノ信號ヲ見ルカ若ハ飛行機ノ行動ニ依リ通信筒投下ノ意圖アルヲ察知セハ速ニ携帶天幕ヲ布置シ若ハ手旗、單旗、布片、帽子ヲ振ル等隨機ノ處置ニ依リ投下位置ヲ示スモノトス

第四十六 戰線又ハ行軍縱隊ノ先頭(後尾)ヲ標示スルニハ左ノ方法ニ依ルモノトス

一 戰線標示

聯、大隊本部ハ其位置ニ隊號布板ヲ布置シ最前線ノ部隊ハ小(分)隊ノ正面ニ於テ概ネ二箇所ノ割合ニ携帶天幕(適宜ノ布片)ヲ布置ス

二 行軍縱隊ノ先頭(後尾)ノ標示

先頭(後尾)ニ在ル小隊ノ各兵卒ヲシテ頭上ニ白布ヲ覆ハシム

以上ノ標示ハ飛行機ヨリ「承知」ノ信號アリタル後撤去スルモノトス

第四十七 敵飛行機ノ所在ヲ友軍飛行機ニ通報スル場合ニ於テハ警報ノ偽飛行機、對空連絡機關以外ノ地上部隊トノ通信

0824

空地連絡法 終

飛行機ト對空連絡機關以外ノ地上部隊トノ通信

二四

適宜布板若ハ天幕等ヲ使用シ其方向ヲ指示スルモトス
第四十八 飛行機ハ地上部隊ニ對シ注意ヲ喚起シ若ハ全般ニ必要ナル事項
ヲ通報スル爲信號ヲ爲スコトアリ
第四十九 通信筒ヲ拾得セル者ハ速ニ之ヲ受信者ニ傳送スルノ處置ヲ講ス
ヘキモノトス

和文字號表

文字	符	號	文字	符	號	文字	符	號	文字	符	號
イ	—	—	カ	—	—	オ	—	—	メ	—	—
ロ	—	—	ヨ	—	—	ク	—	—	ミ	—	—
ハ	—	—	シ	—	—	ヤ	—	—	シ	—	—
ニ	—	—	レ	—	—	マ	—	—	エ	—	—
ホ	—	—	ソ	—	—	ケ	—	—	ヒ	—	—
ヘ	—	—	ツ	—	—	フ	—	—	モ	—	—
ト	—	—	ネ	—	—	コ	—	—	セ	—	—
チ	—	—	ト	—	—	エ	—	—	ス	—	—
リ	—	—	フ	—	—	テ	—	—	ン	—	—
ヌ	—	—	ム	—	—	ア	—	—	ル	—	—
ル	—	—	ウ	—	—	リ	—	—	ル	—	—
ヲ	—	—	セ	—	—	キ	—	—	ル	—	—
ワ	—	—	ノ	—	—	工	—	—			

附表第一

数字	符	號
一	—	—
二	—	—
三	—	—
四	—	—
五	—	—
六	—	—
七	—	—
八	—	—
九	—	—
〇	—	—

記號	符	號
長音	—	—
重切點	—	—
發落	—	—
括弧	—	—

空地無線電信勤務用略號表

區分 意味 略號 類 要
電報送受ニ關スルモノ
調整ノ爲ノ通信ニ關スルモノ
意味 略號 類 要

備考	宛名及表類										發受信常用符號												
	名宛	午後	午前	電報番	字數	類表	分離符號	本	誤訂正符號	送信繼續符號	反復符號	解信符號	可受符號	可送符號	終信符號	前置符號	電報送受ニ關スルモノ						
略號ノ右側ニ縱線ヲ施セルモノハ字隔ヲ置クコトナク連續送信スルモノトス	ア	キ	ニ	ハ	シ	ク	ハ	ニ	イ	ナ	ナ	ウ	ロ		ホ	對手符號ト自己符號トノ間ニ用フ							
	ア	キ	ニ	ハ	シ	ク	ハ	ニ	イ	ナ	ナ	ウ	ロ		ホ	電報本文ノ終リヲ表示スルニ用フ							
	電	混	承	然	問	感	感	感	暫	空	周	波	周	周	周	波	周	波	周	波			
	知	信	知	承	問	感	感	感	暫	空	周	波	周	周	周	波	周	波	周	波			
	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符	符			
	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ			
	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ			
	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ			
	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ			
	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ			
	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ			

空地連絡用無線電信略號表ノ一例					
射彈觀測慣用符號			臨時定ムル略號		
略號	意味	略號	意味	略號	意味
レ	發射(發射セリ)	ガシ	概定試射	レソ	聯隊
サ	左	ケシ	決定試射	タイ	大隊
ウ	右	ダカ	彈數觀測	チウ	中隊
エ	遠シ	コ	效力射	アカ	歩兵
キ	近シ	エカ	曳火射撃	キハ	騎兵
ホヨ	方向長シ	チヤ	著發射撃	ホウ	砲兵
ケ	夾又	テカ	低射界	タホ	大口徑重砲兵
ケヨ	夾又長シ	コカ	高射界	コホ	高射砲
メ	命中	サハ	左ヨリ發射	タン	戰車
ケム	爆煙觀測	ウハ	右ヨリ發射	クル	車輛
ソツ	束葉觀測	ヘキ	平均點知ラセ	コウ	散兵壕
ミ	見エス	ケン	射撃ノ點檢		
カ	觀測セス	カクホ	砲車各個修正	コシ	後尾
ホイ	方位觀測	ヨクシ	翼次各個修正	アマ	集合中
ヒロ	射向幅廣キニ過ク	ハカイ	破壊射撃	チマ	陣地占領中
セマ	射向幅狹キニ過ク	チイ	地域射撃	スム	前進中
ホフ	射向揃ハス	シテ	試射點	テイ	停止
シフ	射程揃ハス	シケイ	射撃中(射撃繼續)	サカ	退却中
アリ	效力アリ	ヤメ	射撃中止	テマ	展開中
ナシ	效力ナシ	カヤ	觀測ヲ要セス	キヤ	逆襲
レ連送	射撃要求	ヒカ	東	ソシ	阻止セラル
ノ連送	射程ヲ延ハセ	ニシ	西	フカ	縱長
タイテ	射撃部隊位置知ラセ(ス)	ミナ	南	モン	正面
モクテ	目標偵察	キタ	北	マエ	前
ツケ	方向及距離知ラセ	00	某砲車	アト	後
ホ連送	方向ヲ指示ス	01	第一砲車		
ムキ	射線ヲ標示セヨ	02	第二砲車		
カン	射彈ヲ觀測セヨ(ス)	03	第三砲車		
ヨシ	準備宜シ	04	第四砲車		
ハツヤ	發射セリヤ				

備 考

一 友軍ヲ示スニハ「ワレ」ヲ冠ス
 二 射界ノ偏差等ヲ示スニ方リ百位數未滿ノ數字中百位ニハ零ヲ附シ又一般ニ數字ノ終リニハ零ヲ附スルコトナク最初ノ數字ヲ附スルモハス 例ハ五十米ハ「050」ニ百米ハ「100」ヲ以テ表ハスカ知シ

數字布板ノ型式ノ一例

板布示標	板布數指	隊 號 布 板				區 分	
		雪 地 補 助 布	隊 號 示 標 布				基 板
			對 空 電 信 所	情 報 收 集 所	一 般 用		
<p>三枚 但砲兵ニ在リテハ聯(大)隊本部 二十枚、中隊ニ三枚トス</p> <p>砲兵用ニ在リ テハ長サ六米、 幅一米トス</p>	<p>一位 十位 百位</p> <p>砲兵用ニ在リ テ長サ六米、 幅一米トシテ 十位ノ赤ヲ ニ米トス</p>	<p>二枚 二枚</p>	<p>各邊 3米</p>	<p>一枚 一枚</p>		大	
		<p>二枚 二枚</p>	<p>各邊 2米</p>	<p>一枚 二枚</p>		中	
		<p>携帶天幕ヲ使用</p>		<p>一枚 二枚</p>		小	
<p>積雪地ニ在リテハ 赤色ノモノヲ用フ</p>	<p>積雪地ニ在リテハ 赤(白)ヲ白(赤)ト 爲シタルモノヲ用フ</p>	<p>一積雪地ニ在リテハ 地用補助布ヲ基板 ノ周圍ニ碎型ニ縁 取ルモノトス 二砲兵用基板ニ積雪 地用補助布ヲ要セス 三携帶天幕ヲ以テ積雪 地ニ用フ</p>	<p>一中隊ハ騎兵集(隊)團 ノミニトス 二積雪地ニ在リテハ (白)ヲ白(赤)ト爲シ タルモノヲ用フ</p>	<p>一隊號ヲ示スルニハ 標示布ヲ適宜ニ形狀 ニ折り疊ミ、線又ハ留 針ヲ以テ基板ニ留メ 又ハ染色トス 二中央ニ線ニ綴テ 合ハス如クスルヲ要 ス</p>	<p>一基板ハ要スレハ分解 式トシ中央ニ綴テ 合ハス如クス 二積雪地ニ於ケル砲兵 用基板ニハ赤色ノモ ノヲ用フ</p>	備考	

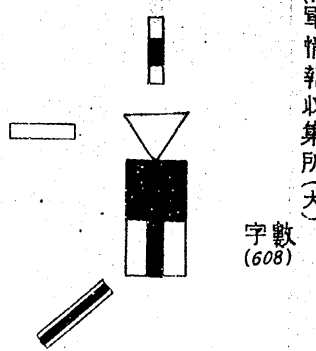
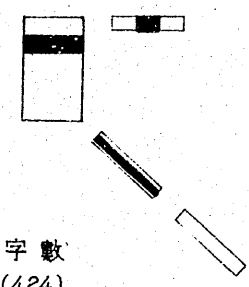
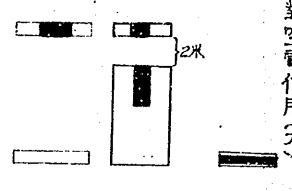
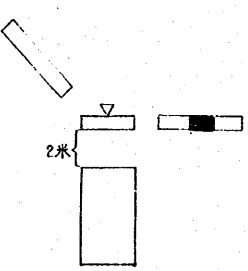
附表第四其二

備考	豫備隊號	砲兵大	對空電信所	情報収集所	飛行隊大	騎兵			師團										軍司令部大	區分
						部隊小	司令部中	旅團中	騎兵小	兵				步		司令部大	師團大			
										隊	聯	部	司	團	旅					
布板上ノ括弧内ノ文字ハ布板ヲ指示スル略號トス	(7)	9 0 1 8 ——— 2	(ル1) ——— (ル2) ——— (ル3) ——— 二倍離隔シテ之ヲ布置ス	(又) ▽ 隊號布板ノ頭部ニ付ス	(リ1)	(71)	(12)	(1)	(ロ8)	(ロ7)	(ロ6)	(ロ5)	(ロ4)	(ロ3)	(ロ2)	(ロ1)	□ 師團	隊號布板ノ配當及標示法ノ一例		
	(7)	7 6 5 4 3 2 1 字ヲ十位トナス	例 飛行隊大 對空電信所 第(1)師團 對空電信所 第(2)師團 對空電信所 第(3)師團 對空電信所	例 情報収集所 第(1)軍 情報収集所 第(2)師團 情報収集所 第(3)師團 情報収集所 騎兵旅團 情報収集所	(リ2)	(72)	(13)	(ハ8)	(ハ7)	(ハ6)	(ハ5)	(ハ4)	(ハ3)	(ハ2)	(ハ1)	ハ 師團				
	(カ)	例 ——— (1)	例 飛行隊大 對空電信所 第(1)師團 對空電信所 第(2)師團 對空電信所 第(3)師團 對空電信所	例 情報収集所 第(1)軍 情報収集所 第(2)師團 情報収集所 第(3)師團 情報収集所 騎兵旅團 情報収集所	(リ3)	(73)	(14)	(ニ8)	(ニ7)	(ニ6)	(ニ5)	(ニ4)	(ニ3)	(ニ2)	(ニ1)	ニ 師團				
	(ヨ)	例 ——— (1)	例 飛行隊大 對空電信所 第(1)師團 對空電信所 第(2)師團 對空電信所 第(3)師團 對空電信所	例 情報収集所 第(1)軍 情報収集所 第(2)師團 情報収集所 第(3)師團 情報収集所 騎兵旅團 情報収集所	(リ4)	(74)	(15)	(ホ8)	(ホ7)	(ホ6)	(ホ5)	(ホ4)	(ホ3)	(ホ2)	(ホ1)	ホ 師團				
	(タ)	例 ——— (39) (04)	例 飛行隊大 對空電信所 第(1)師團 對空電信所 第(2)師團 對空電信所 第(3)師團 對空電信所	例 情報収集所 第(1)軍 情報収集所 第(2)師團 情報収集所 第(3)師團 情報収集所 騎兵旅團 情報収集所	(リ5)	(75)		(ハ8)	(ハ7)	(ハ6)	(ハ5)	(ハ4)	(ハ3)	(ハ2)	(ハ1)	ハ 師團				
		各部隊ニ布板番號ヲ配當ス	(ル1)ヲ第一 (ル2)ヲ第二 (ル3)ヲ第三 對空電信所ニ配當ス														一軍内師團ヲ五箇トシ配當ス 二師團ハ配當セラレタル布板ヲ 歩兵部隊ニ番號ノ順序ニ從ヒ 配當ス	摘要		

0380

附表第五

數字布板ノ標示法ノ一例

用法例		數字ノ位置			區分
<p>第(1)單情報收集所(大)</p>  <p>字數 (608)</p>	<p>一般</p>  <p>字數 (424)</p>	情報收集所用	砲兵用 (用所信電空對)	一般用	圖示
		<p>第(2)師團第二對空電信所(大)</p>  <p>字數 (387)</p>	<p>砲兵(大)</p>  <p>字數 (29)</p>	<p>一 隊號布板ハ其頭部ヲ敵方ニシ之ヲ布置ス</p> <p>二 十位以上ノ數ヲ標示スルニハ上位ヨリ逐次布置スルモ、上撤收ハ同時トス</p> <p>三 隊號布板ト指數布板及指數布板相互間ノ間隔ハ布板ノ約半幅トス砲兵用及對空電信所用隊號標示布(長方形ノモ)ハ基板ノ頭部ヨリ標示布ノ幅ノ約二倍砲兵用隊號標示布(三角形ノモ)ハ數字ノ位置ニ於テ約五十程ヲ離隔シテ之ヲ布置スルモノトス</p> <p>四 指數布板ハ0, 2, 3, 5, 7, 8ニ在リテハ隊號布板ノ一邊ニ直角ニ且特ニ2, 3, 7, 8ニ在リテハ對向スル隊號布板ノ上邊又ハ下邊ト一直線ヲ成ス如ク布置シ、4, 6, 9ニ在リテハ角ノ二等分線ノ方向ニ布置スルモノトス</p>	

他 其		用 兵 砲																信 號	意 味	
用 報 警	用 取 釣 筒 信 通														十 五 榴	十 加	故 障 砲 車	位 置 決 定 方 向 附 與	後 方 決 定 方 向 附 與	信 號
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	I	II	III	十五榴	十加	故障砲車	位置決定方向附與	後方決定方向附與	意味
<p>此方向ニ敵機アリ</p> <p>此方向ニ敵機アリ</p> <p>通信筒釣取準備宜シ及進入方向</p> <p>進入方向</p> <p>(風ニ對スル如ク布置ス)</p>		<p>第三砲車故障</p> <p>第四砲車砲車各個修正</p> <p>第二第三中隊點檢射五十二目標</p> <p>十五榴第二大隊 戰關ニ協力セヨ</p> <p>發射セリ十二發</p>																備考		
<p>敵機ノ方向ヲ指示スル爲メ 標示板ハ指數板板天幕幕等ヲ以テ用スルコトヲ得</p>		<p>中大隊番號ハ隊號布板ノ左側ニ砲車番號目標番號發射彈數ハ右側ニ之ヲ標示スルモノトス</p> <p>三數箇ノ中隊ヲ同時ニ標示スルヲ要スト夫發射順序並前方ヨリ布置ス</p> <p>三標示布板指數板及隊號布板ノ距離間隔ハ各々三米トス</p> <p>四頭部ヲ敵方ニシテ布置ス</p>																		

標示布板ノ標示法ノ一例

空地連絡用數字布板信號表ノ一例

附表第七

慣用信號		意味		臨時信號		意味	
慣 用 信 號	0	承知(通信受領)		軍 隊 區 分 及 部 隊	50	右翼隊(縱隊)(地區占領部隊)(追擊隊)	
	1	要求アリ(通信始メ)			51	中央隊(縱隊)(地區占領部隊)(追擊隊)	
	2	全部消信			52	左翼隊(縱隊)(地區占領部隊)(追擊隊)	
	3	要求ナシ(否ラス)			53	先遣(前進)部隊	
	4	暫ク待テ			54	前衛	
	5	通信終了			55	本隊	
	6	信號繰返セ(受領セズ)			56	後衛	
	7	對空無線開設中			57	第一線部隊	
	8	汝ハ協力機ナリヤ			58	豫備隊	
	9	歸還シテ直ニ次機ニ出發ヲ命セヨ			59	軍(司令部)	
	00	數字始メ(數字終リ)			60	師團(司令部)	
	01	座標			61	旅團(司令部)	
	02	時刻			62	騎兵隊	
	03	調整ヲ復行セヨ(送信セヨ)			63	砲兵隊	
	04	無線電信不能(聞エス)			64	工兵隊	
	05	通信筒ニ依リ連絡セヨ(對空無線故障)			65	次=示ス部隊=我狀況知ラセ	
	06	通信筒ヲ釣取レ			66	次=示ス部隊(地點)(方向)(附近)狀況知ラセ	
	07	任務解除(歸還セヨ)			67	次=示ス部隊/戰闘=協力セヨ	
	08	送信中			68	次=示ス部隊=其次=示スコトヲ命セヨ	
	09	當對空電信所無線開設セズ			69	次=示ス地區(目標)ヲ搜索(監視)セヨ	
臨 時 信 號	10	我ハ-----移動ス		70	敵情ヲ監視セヨ		
	11	次=示ス目標=對シ觀測セヨ		71	敵情(兵力部署)ヲ知ラセ		
	12	偵察者ヨリ指示セル目標=對シ觀測セヨ		72			
	13	地域射撃					
	14	砲車各個修正					
	15	翼次各個修正					
	16	射撃ノ點檢					
	17	低射界					
	18	高射界					
	19	破壊射撃					
	20						
	21						
	22						
	23	概定試射		94	陣地占領完了セリ		
	24	着発射撃		95	現在地ヲ固守ス(セヨ)		
	25	射撃中		96	退却ス(セヨ)		
	26	曳火射撃		97	攻勢(逆襲)=轉ス(セヨ)		
	27	決定試射		98	敵ハ(敵)		
	28	效力射		99	我ハ(我)		
	29	方向及距離知ラセ		100			
30			101				
31			102				
32			103	東			
33	準備直シ		104	西			
34	試射點		105	南			
35	發射セリ		106	北			
36	射撃ノ效果ヲ觀測セヨ		107				
37	次ノ如ク目標=番號ヲ附ス		豫 備	乃 至 999			
38	左ヨリ發射						
39	彈數觀測						
40							
41							
42							
43							
44							
45	右ヨリ發射						
46	目標=番號ヲ附シテ知ラセ						
47	平均點知ラセ						
48	目標ヲ偵察シ通時射撃ヲ指導セヨ						
49							
備 考	慣用信號(數字始メ(數字終リ)座標時刻ヲ除ク)及射撃 觀測ノ信號ハ獨立シテ使用シ通信始メ及通信終リノ信號 ヲ空ノコトヲ示シテ之カヲ標示時間ノ飛行機ヨリ應答ア ルハ其行動者ハ次ノ通信ニ依リ通信ノ確實ニ傳達 セラレリト察スルマデトス						
	砲兵協力ヲ行フ場合は於テハ射撃觀測ノ信號ハ通 常本表ノ數字ヲ配當スルモノトス						
				信 號			
				イ			
				ロ			
				ハ			
				ニ			
				ホ			
				ヘ			
				ト			
			意 味				
			先遣部隊=現在地固守セヨト命セヨ				
			右退擊隊/戰闘=協力セヨ				
			A(右)B(左)ヲ連リ線ヲ以テ東ノ目標ヲ搜索セヨ				
			座標(235-206)				
			午前午後ヨリ 午前五時十五分				
			同別セズ 午後五時0分				
			我師團司令部ハA橋梁(100)東150米ニ在リ				
			一 送信中ノ布板信號ハ對空電信所ノ送信時間中ノヲ布置シ 送信終(受信=移)レハ之ヲ撤収ス				
			二 承知ノ布板信號=對シテハ空地共ニ信號スルコトナシ 從テ對空電信所ノ適宜撤収スルモノトス				
			三 普通場合は於テ標示時間ハ空中勤務者ノ確認セリト判 斷シタルトキヨリ五秒ヲ標準トス				

0832

0833

附表第八

煙火信號表ノ一例

備考	意味	信號		倍		
		龍	龍	黄	黒	
「呼出」(「要求アリ」)、「要求アリヤ」,「承知」,「信號様返セ」,「戦線ヲ標示セヨ」,「先頭(後)ヲ知ラセ」等ヲ通常定メ適宜ノ信號ニ配當スルモノトス	臨時之ヲ定ム					
				赤	吊	
				白	星	
				緑		
				一星	赤	洗
				三星		
				一星	白	
				三星		
				一星	緑	星
				三星		